

## 膝疾患治療成績判定基準

術前・術後 カルテ番号	病院名	患者氏名	記入者氏名	手術名	記入日
手術年月	性別	男・女	年齢	歳	

項目	評価内容	点数		特記事項			
		右	左	疼痛	右	左	
					無軽中激	無軽中激	
疼痛・歩行能力	1km以上歩行可、通常疼痛無いが、動作時たまに疼痛あってもよい	30	30	実測角度	可動域		
	1km以上歩行可、疼痛あり	25	25		強直		
	500m以上、1km未満の歩行可、疼痛あり	20	20		自動伸展不全		
	100m以上、500m未満の歩行可、疼痛あり	15	15		内・外反		
	室内歩行または100m未満の歩行可、疼痛あり	10	10	動揺	側方		
	歩行不能	5	5		前方		
	起立不能	0	0	大腿周径	5cm		
小計			10cm				
疼痛・階段昇降能力	昇降自由・疼痛無し	25	25	器具など	時々		
	昇降自由・疼痛あり、手摺を使い疼痛無し	20	20		常用		
	手摺を使い、疼痛あり、一步一步の昇降では疼痛無し	15	15		杖・車椅子等		
	一步一步・疼痛あり、手摺を使い一步一步の昇降は疼痛なし	10	10			時々	常用
	手摺を使い一步一步の昇降も疼痛あり	5	5		一本杖		
	できない	0	0		二本杖		
	小計				車椅子		
屈曲角度および強直・高度拘縮	正座可能な可動域	35	35	10m歩行速度			秒
	横座り・胡座可能な可動域	30	30	X線所見		右	左
	110°以上屈曲可能	25	25		立位FTA		
	75°以上屈曲可能	20	20		臥位FTA		
	35°以上屈曲可能	10	10		関節裂隙		
	35°未満の屈曲、または強直、高度拘縮	0	0		骨棘		
	小計				骨硬化		
			亜脱臼				
腫脹	水腫・腫脹無し	10	10	骨欠損			
	時に穿刺必要	5	5	患者の印象			
	頻回に穿刺必要	0	0				
	小計						
	総計						

### ●判断基準

疼痛・歩行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行はすべて連続歩行(休まずに一気に歩ける距離)を意味する</li> <li>・疼痛は歩行時痛とする(疼痛は鈍痛、軽度痛、中等度痛を含む)</li> <li>・ある距離までしか歩けないが、その範囲では疼痛無いときには、その一段上のクラスの疼痛・歩行能とする</li> <li>・ある距離で激痛が現れるとき、その一段下のクラスの疼痛・歩行能とする</li> <li>・「通常疼痛無いが、動作時たまに疼痛あってもよい」は買物後、スポーツ後、等の時に疼痛がある状態をいう</li> <li>・「1km以上の歩行」はバスの2~3停留所間隔以上歩ける、あるいは15分以上の連続歩行可能</li> <li>・「500m以上、1km未満の歩行」は買物が可能な程度の連続歩行をいう</li> <li>・「100m以上500m未満の歩行」は近所づきあい程度の連続歩行をいう</li> <li>・「室内歩行または100m未満の歩行」は室内または家の周囲、庭内程度の連続歩行をいう</li> <li>・「歩行不能」は起立できるが歩けない、歩行できても激痛のある場合をいう</li> </ul>
疼痛・階段昇降能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疼痛は階段昇降時痛をいう</li> <li>・疼痛は鈍痛、軽度通、中等度痛をいう</li> <li>・激痛があるときはその一段下のランクとする</li> <li>・筋力低下などで出来ない状態であるが疼痛の無いときは手摺を用い一步一步で疼痛ありとする</li> </ul>
腫脹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「時に穿刺必要」: 最近時に穿刺を受けている、または時にステロイド剤の注入を受けているなど</li> <li>・「頻回に穿刺必要」: 常に水腫がある</li> </ul>